

病気をお持ちのお子様とご家族のみなさまへ

子どもを災害から守るための備え

災害は、いつ 誰の身に起こるかわかりません。災害が起きた時のことを想定し、日頃からご家族や支援者と話し合い、準備しておくことが大切です。災害時の備えについて詳細を保健師と相談することもできます。

子どもを災害から守るための日頃からの準備

①医療について

主治医や訪問看護師に災害時の対応について相談してみましょう。



③連絡方法

家族や病院との連絡手段の確認
関係機関（訪問看護等）との連絡手段
災害伝言ダイヤル 171 や Web171 を試してみましよう。



web171

②緊急時持ち出し物品

通常の商品に加えて個別に必要な準備をしましょう。



④環境

寝室や子ども部屋の調整
家具の転倒予防
スリッパや懐中電灯の準備



《災害時の持ち出しリスト》

(半年に1度程度点検しましょう)

- 健康保険証
- 小児医療証、小児慢性特定疾病医療証、身体障害者手帳、療育手帳等
- お薬手帳
- 常備薬、頓服薬（7日分を目安）、水
- 病状によって必要な医療材料（7日分を目安）
※ 裏面参照
- 非常用食品（食事への配慮に合わせた非常用食品）
- 衣類、おむつ、おしりふき
- 連絡先リスト
- 災害時個別支援計画、ヘルプマーク（お持ちの方）
- ティッシュ、ウェットティッシュ、ビニール袋等

お役立ち情報

神奈川県
災害情報
ポータル



避難行動要支援者支援制度

自力での避難が困難な障がいのある方などのために、登録制度があります。詳しくは市役所にお問い合わせください。

電源

- 外部バッテリー、バッテリー充電器等
- 乾電池
- 発電機と使用燃料 / 蓄電池
- 延長コード（三又プラグ）
- シガーソケット・ケーブル

吸引

- 吸引器（バッテリーあり、手動・足踏み式）
- 吸引チューブ
- 蒸留水または精製水
- グローブ
- アルコール綿

排泄

- ストーマ装具、アクセサリ類、洗浄清拭剤
- はさみ、固定用テープ等

導尿

- 導尿カテーテル、潤滑剤、消毒用品等

栄養面

- 栄養剤
- 注入ボトル、接続チューブ
- 注射器
- Yガーゼ等の衛生材料

みなさんの声 ～我が家ではこう備えています～

日頃からご自身でできることを取り入れてみませんか。

<避難・連絡編>

- ・ハザードマップで、浸水や土砂崩れなどの危険な場所を確認しました。
- ・荷物もあるので、スリングを購入しました。持出し荷物がどのくらいかまとめてみました。

<薬・排泄・食事編>

- ・主治医に災害時の対応を相談し、災害時に余分に出してもらっています。
- ・病名、お薬の名前と量は、子どもが自分で言うことができるようになりました。
- ・薬の情報は携帯に画像保存しています。
- ・オムツは早めに買い足しています。災害用トイレを購入しました。
- ・ミキサー食を食べているため、災害用にレトルトの介護食やベビーフードを用意しています。祖父母宅にも備蓄させてもらっています。

<電源編>

- ・手動の吸引機を買いました。ちょっとした外出時にも使えて便利です。
- ・車のガソリンはいつも満タンにしています。

【問合せ先】

神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター
保健福祉課 保健師

〒242-0021 大和市中央1-5-26

電話 046-261-2948（代表）

（※保健師等による相談）

家庭訪問や面接、電話等にて、お子さんとそのご家族の在宅療養生活上のご相談をお受けします。ご希望の方は、担当窓口でお声かけいただくか、お電話にてご相談ください。

